

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名：環境アニメイテッドやお

今後地域の将来像を実現するために必要と考えられる事業を3つ書いてください。

1	事業名称：廃校の利活用	
事業概要	事業の内容	
<p>2016年、北高安小学校及び、中高安小学校、高安中学校が統合し、旧北高安小学校及び高安中学校のグラウンドや校舎の一部が閉校したままの状態になっていた。そこを高安中学校区まちづくり協議会が中心に運営をし、地域資源の発信拠点として、整備してきた。本事業では、その発信拠点としての機能をさらに拡充するために、空き教室を博物館として利用するなどの整備を行った。きんたい廃校博物館（通称：きんぱく）では、高安地域に生息する絶滅危惧種 I A類に指定されるニッポンバラタナゴをはじめとする、八尾に生息する魚などの動植物について情報発信をする。また、地域の企業とコラボした商品の販売やワークショップの開催なども実施する。さらに、八尾地域の地場産業である河内木綿の栽培や加工、高安山で間伐された材料で木材の加工などが体験できる木育教室などが開催されており、地域資源の発信の拠点となりつつある。さらに、きんたい米や河内木綿を活用した商品の販売、また、地域資源を活用した新たな商品の開発と販売も進めたい。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	<p>廃校の管理運営は、八尾市から高安小中学校区まちづくり協議会が委託されている。協議会と協働して、地域資源である森林や休耕地、ため池などの生態系サービスを持続的に利用するための拠点として、廃校を展示の場や講習の場として利用し、高安地区の魅力を発信する。</p>
	②どの地域資源を活用するか	<p>絶滅危惧 I A類のニッポンバラタナゴ、八尾地域に生息する動植物、河内木綿、高安山の森林資源、廃校、八尾市の中小企業の技術、</p>
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	<p>ニッポンバラタナゴを中心とした、博物館の運営。 また、地域企業とコラボした商品の開発、ワークショップの開催等。 河内木綿の体験、木材加工の体験等</p>
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	<p>高安中学校区まちづくり協議会、NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会、リーラボ、もめんカフェ</p>
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	<p>人の循環（都市部から高安地域へ） 資金の循環 木育教室の実施や商品開発による森林資源や農作物の循環</p>
		<p>現時点で想定される課題・ボトルネック</p> <p>廃校を継続活用していくためには、整備のための工事費や人件費が必要になってくる。工事費としては、生き物を展示する部屋に空調がないため、夏までに設置することが急務である。人件費は生き物の管理に継続して必要になる。 また、博物館に関しては月に一度のプレオープンを実施しているが、将来的には、毎週末オープンしている状況を目指したい。そのためには、廃校で体験できるメニューの拡充が必要である。 地域資源を活用した新たな商品の開発については、共同開発していただく企業の存在が必要。 ハード面の整備に加えて、廃校を継続的に利用していくための体制や費用面の計画を整えることも急務である。</p> <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八尾市内の中小企業で事業内容に共感して下さるスポンサー。 ・地域資源を活用した商品を共同開発して下さる企業。 ・空調設備等を製造している八尾市内の事業者。

2	事業名称：マルシェ	
事業概要	事業の内容	
<p>高安地域の地域資源を実感できるマルシェイベント。2018年から廃校を活用して「やまねきマルシェ」が実施されてきた。このマルシェイベントは、地元で採れた有機野菜の販売などを通して、高安の魅力を地域の内外に発信することを目的に実施してきた。 今回、本事業で取り組むにあたり、きんたい廃校博物館や木育教室、河内木綿教室との連携を、より一層図る形で実施した。 次年度以降は、やまねきマルシェだけでなく、廃校の校舎周辺をさらに有効活用し、八尾・高安地域の地域資源を発信することを目的とした、小規模なマルシェも複数回開催する予定。また、その際に現在利用されていない部室なども活用することで、より学校を活用したマルシェになるように検討する。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	<p>八尾には、ニッポンバラタナゴをはじめとした貴重な生態系や森林資源が残されているが、八尾市民や近隣市民にもその認知度は低い。認知度を高めて、高安地域の関係人口を増加させたい。また、地域住民の郷土愛の醸成を図りたい。</p>
	②どの地域資源を活用するか	<p>高安地域で栽培された(有機を中心とした)農産物、廃校、高安山の森林資源、河内木綿、絶滅危惧 I A類のニッポンバラタナゴ</p>
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	<p>通常の廃校の運営に関わるサービスに加えて、マルシェの出展者による物販や体験型ワークショップなど</p>
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	<p>高安中学校区まちづくり協議会、株式会社SORASIA、World Seed</p>
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	<p>人の循環（都市部から高安地域へ） 資金の循環 木育教室の実施や商品開発による森林資源や農作物の循環</p>
		<p>現時点で想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続開催するための体制を構築。 ・継続開催するため収益の確保。 <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <p>同様の規模のマルシェイベントを継続実施している団体や企業 また、その収益化についてのノウハウを持っている方</p>

3	事業名称：廃校エコツアー	
事業概要	事業の内容	
<p>高安地域には、自然資源が豊富にあり、歴史遺産もたくさんある。その資源を巡るツアーはこれまででも複数実施されてきたが、それぞれが収益を上げて継続的に実施できるような体制にはなっていなかった。 本事業で取り組むことによって、新たな層の参加を獲得すること、継続的に実施できる体制と資金計画をつくる。 2019年度には、試験的に自転車エコツアーを実施。ツアーの見どころになる箇所が広範囲にあり、徒歩で巡るには難しい距離だったため、自転車で回る計画とした。参加者からは内容や費用面での感想をお聞きし、次回以降の計画に反映させられるようにした。</p>	①なぜこの事業をやるのか（Why）	<p>高安地域への訪問者を増やし、自然資源や史跡が多い地域だという事を発信し、関係人口を増やしたい。また、地域住民の郷土愛の醸成を図りたい。</p>
	②どの地域資源を活用するか	<p>高安の森林資源、史跡、廃校、河内木綿、ニッポンバラタナゴなど</p>
	③商品・サービスの具体的な内容は何か（What）	<p>エコツアーの体験</p>
	④誰がこの事業の主たる担い手か（Who）	<p>NPO法人ナック</p>
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	<p>人の循環（都市部から高安地域へ） 資金の循環</p>
		<p>現時点で想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車でのエコツアーに関しては、子どもの参加は難しい面があるが、大人のニーズが高いことがわかった。ターゲットに訴求する方法を検討する必要がある。 ・地域に、レンタサイクルの拠点があれば、自転車でのエコツアーが日常的に実施できるようになる。（現在は試験的に駅で自転車をレンタルし、廃校に運搬） <p>課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像</p> <p>コンビニチェーンなど、乗り捨て可能な自転車の拠点を設置している企業</p>